

問1 東海工業地域に属する静岡県では、自動車やオートバイなどの生産が非常に盛んです。県の製造品出荷額において、24パーセント以上の最も高い割合を占めている産業分類を選択肢から選びなさい。（2026年 三重公立入試 類似）

1. 輸送用機械器具製造業      2. 電気機械器具製造業      3. 化学工業      4. 情報通信機械器具製造業

問2 静岡県の産業構造に関する説明として、統計資料から読み取れる内容と合致するものはどれですか。（2022年 岡山公立入試 類似）

1. 製造品出荷額等が約17兆円と非常に大きく、海上や航空による貨物輸送量も他県と比較して顕著に多い。  
2. 農業産出額において米の割合が最も高く、工業製品の出荷額を上回っている。  
3. 野菜の産出額は全国有数だが、大規模な港湾を持たないため海上貨物輸送量は極めて少ない。  
4. 製造業よりも畜産業の割合が高く、製造品出荷額は他県に比べて小規模である。

問3 東海・北陸地方の各県の統計において、人口が300万人を超え、工業出荷額の中で自動車などの輸送用機械の割合が突出して高い県と、人口が約100万人で、非鉄金属工業の出荷額が他の工業分野に比べて目立っている県の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 埼玉公立入試 類似）

1. 静岡県と富山県      2. 静岡県と長野県      3. 岐阜県と富山県      4. 長野県と岐阜県

問4 長野県と群馬県の県境付近には浅間山などの火山が連なり、標高の高い高原地帯が広がっています。この地域で行われている、夏の涼しい気候を利用して他の地域より出荷時期を遅らせる栽培方法の名称と、その特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2014年 和歌山公立入試 類似）

1. 抑制栽培：夏でも涼しい気候を活かし、キャベツなどの野菜を夏から秋にかけて出荷する  
2. 促成栽培：冬の温暖な気候を活かし、ビニールハウスを用いて成長を早めて出荷する  
3. 二毛作：同じ土地で一年のうち米と麦など、異なる二種類の作物を栽培する  
4. 近郊農業：大消費地に近い利点を活かし、鮮度を保ったまま野菜や花を届ける

問5 中部地方の中央部に位置する飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈は、標高3000m級の険しい山々が連なるその地形的特徴から、家屋の最も高い部分になぞらえて何と呼ばれていますか。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 日本の屋根      2. 日本の背骨      3. 日本海の大壁      4. 環太平洋造山帯

問6 中部地方の4県（石川県、長野県、岐阜県、愛知県）の産業を比較した統計において、農業産出額のうち「米」の占める割合が約45%と最も高く、一方で「果実」の割合がこの4県の中で最も低い数値を示している県はどこか、答えなさい。（2023年 新潟県公立入試 類似）

1. 石川県      2. 長野県      3. 岐阜県      4. 愛知県

問7 中部地方の日本海側に位置し、能登半島を擁する石川県では、冬の積雪期間が長いといった気候条件もあり、古くから農家の副業として様々な手工業が発達しました。この地域で生産される、落ち着いた色使いや写実的な草花模様を特徴とする伝統的な染物の名称として適切なものを選びなさい。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 加賀友禅      2. 西陣織      3. 博多織      4. 江戸小紋

問8 北陸地方に位置する福井県について、地理的特徴や近年の変化を説明した文として最も適切なものを次の中から選びなさい。

（2016年 長野県公立入試 類似）

1. 北陸地方の西部に位置しており、北陸新幹線の延伸によって首都圏との所要時間が短縮された。  
2. 北陸地方の東端に位置しており、関東地方と接しているため古くから新幹線が整備されていた。  
3. 中部地方ではなく近畿地方に属しており、大阪や京都とのつながりはあるが北陸地方とは交流が少ない。  
4. 日本海沿いではなく内陸部に位置しているため、北陸新幹線のルートからは外れている。

問9 農産物の収穫量の統計において、長野県が約19万8千トンで全国1位、次いで茨城県、群馬県が上位となっている農産物があります。特に長野県の高原地帯において、夏から秋にかけての涼しい気候を利用して盛んに生産されるこの農産物の名称として正しいものを選びなさい。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. レタス      2. キャベツ      3. たまねぎ      4. ピーマン

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 輸送用機械器具製造業	静岡県は愛知県などとともに関東工業地域を形成しており、特に浜松市周辺などを中心に自動車や二輪車（オートバイ）の生産拠点が集まっています。製造品出荷額の統計資料においても、輸送用機械が全体の4分の1近くを占める最大の基幹産業となっており、これに電気機械や化学工業が続く構成が特徴です。
問2	<b>答え 1</b> 製造品出荷額等が約17兆円と非常に大きく、海上や航空による貨物輸送量も他県と比較して顕著に多い。	静岡県は工業が極めて盛んな地域であり、製造品出荷額は約17兆円という高い水準にあります。この工業を支える物流面でも、海上や航空による貨物輸送量が他県より多いというデータに表れています。農業面では、米の産出額に対し野菜の産出額が約三倍に達しており、農業と工業の両面で高い生産性を誇っています。
問3	<b>答え 1</b> 静岡県と富山県	静岡県は東海工業地域の一角をなし、輸送用機械（自動車・オートバイなど）の製造が極めて盛んで、人口も300万人を超える大きな規模を持っています。一方、富山県は人口約100万人規模であり、北陸地方の急峻な河川を利用した水力発電による豊富な電力を背景に、アルミニウムなどの非鉄金属工業が発展したという特色があります。
問4	<b>答え 1</b> 抑制栽培：夏でも涼しい気候を活かし、キャベツなどの野菜を夏から秋にかけて出荷する	長野県と群馬県の県境にまたがる嬬恋村や菅平高原などの地域は標高が高く、夏でも冷涼な気候が続きます。この自然環境を活かし、平地では生産が難しい夏季にキャベツやレタスなどの高原野菜を育てて出荷する「抑制栽培」が盛んです。これにより、市場での供給が少ない時期に高い価格で販売することが可能になります。促成栽培は宮崎県や高知県などの温暖な地域で見られる手法です。
問5	<b>答え 1</b> 日本の屋根	本州のほぼ中央部に標高3000m級の高い山々が集中している様子が、家屋の屋根のように見えることから「日本の屋根」と称されます。これら3つの山脈は日本アルプスとも呼ばれ、日本の地形を象徴する険しい山岳地帯を形成しています。
問6	<b>答え 1</b> 石川県	石川県は加賀平野を中心に稲作が盛んであり、農業産出額に占める米の割合が他県に比べて高いのが特徴です。一方、長野県は果実や野菜、愛知県は野菜や花き、岐阜県は畜産や野菜の割合がそれぞれ高くなっており、統計上の数値から各県の農業の特色を判別することができます。
問7	<b>答え 1</b> 加賀友禅	石川県（金沢市周辺）で受け継がれている伝統的工芸品は加賀友禅です。北陸地方では冬の農閑期の副業として、こうした高度な技術を要する産業が発達しました。選択肢にある西陣織は京都府、博多織は福岡県、江戸小紋は東京都の伝統産業であり、それぞれの地域の歴史的背景に基づいています。
問8	<b>答え 1</b> 北陸地方の西部に位置しており、北陸新幹線の延伸によって首都圏との所要時間が短縮された。	福井県は北陸地方の西側に位置し、経済・文化的に関西圏との結びつきも強い県ですが、行政や学習上の区分では北陸地方（中部地方）に含まれます。2024年3月の北陸新幹線・金沢駅―敦賀駅間の延伸開業により、福井県内から乗り換えなしで東京方面へ向かうことが可能になり、時間短縮による観光客の増加や経済効果が期待されています。
問9	<b>答え 1</b> レタス	長野県、茨城県、群馬県が生産量の上位を占めるこの農産物はレタスです。長野県では、標高の高い高原地帯の冷涼な気候をいかした高冷地農業が盛んで、主に夏から秋にかけて収穫されます。一方、茨城県は冬から春にかけての出荷が多く、産地がリレーのように時期をずらして出荷することで、年間を通じて食卓に届けられています。紛らわしいキャベツは、群馬県が夏から秋にかけての主要な産地ですが、統計上の順位や長野県の圧倒的なシェアからレタスと判断します。